



千田 友明さん(37)
玲子さん(38)

＝前沢区七日町＝

雨の日も晴れの日も

●どんなときも一緒に素敵な夫婦を紹介

前沢区で代々続く写真店の三代目である千田夫妻。現在のお店「ジョイフォト」は、友明さんが後を継ぐのに合わせ、アステイ商店街に移転してきたものです。

二人の出会いもこのお店のことでした。たまたま証明写真を撮りに来た玲子さんを友明さんが食事に誘ったことがきっかけとなり、交際がスタート。友明さんは「妻は自分とタイプが違う。そこに惹かれたのかな」と照れたように語ってくれました。

二人が今一番関心を持って取り組んでいるのが地域活動。「店を構える以上、地元に貢献する必要がある」という信念を持つ友明さんは、その言葉通り、前沢商工会理事や、今月12日に行われるよさこいフェスタの実行委員長など、多くの地域の役職に就いています。玲子さんも読み聞かせサークル「もちもちの会」の活動のほか、こし2月の前沢劇場では物語の中心人物であるユリ子を演じるなど活躍。「長男と共演もしたんですよ」と思わぬ役得ににんまりする玲子さんです。

市外出身の玲子さんにとって前沢は、若者が多くイベントも多い楽しいまち。そのまちづくりのためさまざまな役職をこなす友明さんに「いろいろ忙しいだろうけど、体をいたわってね」とねぎらいの言葉を掛けていました。



おうしゅう 羅針盤

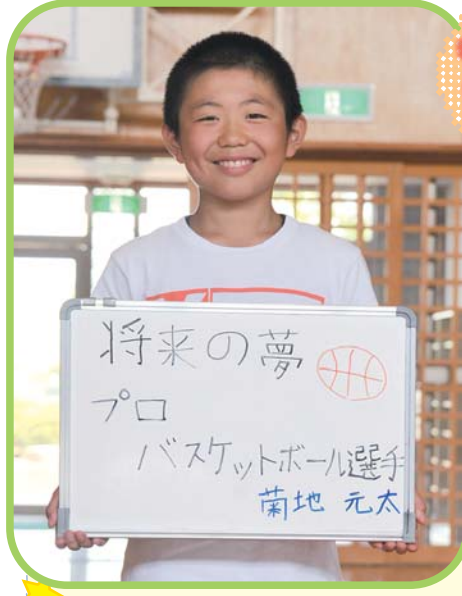
涼しげな風鈴の音が聞こえる季節となりましたが、皆様いかがお過ごしですか。

JR水沢駅に夏の風物詩として親しまれている南部風鈴千個が上下線のホームに飾られ、「チリン、チリーン」と涼しげな音色を奏でています。風鈴の取り付けは、水沢鋳物工業協同組合が鋳物のまちをアピールしようと毎年行っているもので、「残したい日本の音風景百選」にも選ばれています。同駅の南部風鈴は8月末まで設置されます。涼やかな音色をお楽しみください。

阿原山高原、焼石連峰、種山高原の山開きが5月末から6月上旬にかけて開催されました。神事に続き、テープカットを行い、山の安全と夏山観光の到来を祝いました。頂上付近からの眺望は、身も心もリフレッシュさせてくれます。

7月1日から国の地方創生に係る交付金を活用した市のプレミアム商品券が発売されました。商品券は、一般向けに500円券24枚つづり1万2千円分を1万円で、子育て世帯には同1万2千円分を8千円で販売しましたが、一般向けは完売いたしました。子育て世帯分は8月末日まで販売しています。商品券の取扱店は地元の食料品店や飲食店、タクシー、書店、温泉施設、ホテルなど多種多様です。また、発行元の奥州商工会議所と前沢商工会では、旅行券などが当たるスタンプラリーや抽選会を行っています。有効期限は12月末日です。地元の消費拡大と地域活性化のためにご利用ください。

奥州市長 小沢昌記



菊地 元太 くん
(胆沢区・若柳小学校6年)

Interview

夢トーク

将来の夢は「プロバスケットボール選手」

——学校での役割は？

体育委員会です。運動会での体操、体育館の倉庫整理、ボールの空気入れなどが仕事です。ことしが初めてだけれど、前からやりたいと思っていました。

——好きなスポーツは？

バスケットボールです。2年生の夏からスポーツ少年団に入っています。ポジションはガードで、今はレギュラーです。週3回のスポーツ少年団のほか、家でも練習しています。

——いちばんの思い出は？

家族でプロバスケットボール

の試合を見に行ったことです。3年生のとき、お父さんが誘ってくれました。それからは岩手ビッグブルズの試合が近くであると観戦に行きます。年3回くらい行ってるかな。

——将来の夢を教えてください。

プロバスケットボール選手です。好きなバスケットボールをずっと続けていきたいです。

——夢を叶えるために、頑張っていることは何ですか？

好き嫌いなく食べることです。体が小さいので、大きくなりたいです。



青春讃歌

水沢第一高等学校 男子バスケットボール部

- ◎部員数 28人
- ◎顧問 大内 誠光 先生
千田 将平 先生
- ◎主将 千田 隼人 君(3年)
- ◎部長 川内 廉寿 君(3年)

実力は身長で決まらない 水北地区に水沢一高あり

こし5月の高総体で県ベスト8入りした水沢第一高等学校男子バスケットボール部。水北地区では一、二を争う強豪校です。しかし、部員たちの身長はバスケットボール選手としてはそれほど高くありません。「先発メンバーの平均で175cmくらい」という千田主将。それでもチームは、自分たちより背の高い対戦相手に勝ってきました。



得点力向上が課題

「他校から見たら、あいつらあんな身長でなんでそんなに勝てるんだ？」と不思議なんじゃないかな」と千田主将は笑います。鍵となるのはチームワーク。明るく元気、練習外でも仲がいい

のが部の特徴で、そのことが強さにつながっているようです。

今の課題は得点力不足。これまで、連携プレーで対戦相手の守備を振り切っても、得点が決まらず歯がゆい思いをしたことがありました。顧問の千田先生は「身長や技術は十分とは言えないが、組織力を磨くことでそれを補える」と選手たちの可能性を信じます。千田主将も「日々成長しています。次の大会はより良い成績が残せると思います」と自信をのぞかせました。

厳しくも確かな指導で技術面を支える大内先生と、部員の精神面を支える千田先生。2人の顧問の支えを受け、部員たちは10月の大会で、県ベスト4進出に挑みます。